

EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル

アプリケーション開発ガイド
POSPrinter
(TM-U220IIA/U220IIB/U220IID)

Version 1.14.30 Oct. 2023

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容についてつきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容についてつきましては、万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) このソフトウェアは指定された装置以外には使用できません。
- (5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft®、Windows®、Windows Server® および Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

IBM® および PC/AT® は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

EPSON® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

ESC/POS® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

引用している会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright (c) 2023 Seiko Epson Corporation

アプリケーション開発ガイド

POSPrinter(TM-U220IIA/U220IIB/U220IID)

目次

第1章 はじめに	1
1.1 本文中の語句について	1
第2章 POSPRINTERを使用する前に	3
2.1 デバイスの設定	3
2.2 オフライン中コマンド実行機能.....	3
2.3 注意・制限事項	3
第3章 プロパティ・メソッド・イベント	5
3.1 プロパティ	5
3.2 メソッド	9
3.3 イベント	24
APPENDIX-A 改訂履歴	26
A.1 EPSON OPOS ADK for .NET 1.14.30	26
APPENDIX-B SETUPPOSの設定	27
B.1 [送信状態によってエラーコードを区別する]チェックボックス	27
B.2 [CharacterSetと国際文字セットをあわせる] チェックボックス.....	28
B.3 [2色印字] チェックボックス.....	28
B.4 [ニアエンドセンサ] チェックボックス	29
B.5 [印字動作の完了をチェックする] チェックボックス	29
B.6 [減色処理] コンボボックス.....	30
B.7 [マルチバイト文字のサポート] コンボボックス.....	30
B.8 [レシート用紙幅] コンボボックス.....	31
B.9 [文字セット] コンボボックス	31
APPENDIX-C ハードウェアの設定	32
APPENDIX-D プロパティの初期値	34

APPENDIX-E エスケープシーケンス	39
------------------------------	-----------

APPENDIX-F DEVICESTATISTICS	41
------------------------------------	-----------

第1章 はじめに

EPSON OPOS ADK for .NETにおいて、POSPrinterを使用する場合の使用方法や関連事項、およびデバイス特有の注意事項を記載します。

POS for .NET の API の詳細につきましては、「UnifiedPOS Retail Peripheral Architecture Version 1.14.1」、および MSDN の「POS for .NET v1.14.1 SDK Documentation」を参照してください。最新情報の入手先については、リリースノートを参照してください。

1.1 本文中の語句について

- 「UnifiedPOS Retail Peripheral Architecture Version 1.14.1」を、「UPOS」と略すことがあります。
- 「Microsoft POS for .NET」は「POS.NET」と略すことがあります。
- 「EPSON OPOS ADK for .NET Version 1.14.30」を、「OPOS.NET」と略すことがあります。
- 「POSPrinter」、「プリンタ」を、「デバイス」と表すことがあります。
- 「OPOS.NET で提供される POSPrinter の ServiceObject」を、「ServiceObject」と略すことがあります。
- 「PosControlException の ErrorCode プロパティ」を、「ErrorCode」と略すことがあります。
- 「PosControlException の ErrorCodeExtended プロパティ」を、「ErrorCode Extended」と略すことがあります。
- 「例外」は、「PosControlException」を指します。
- 本デバイスで使用する EPSON 独自のデバイス定数は「`jp.co.epson.uposcommon.EpsonUPOSConst`」、および「`jp.co.epson.uposcommon.EpsonPOSPrinterConst`」に定義されています。
- 「**JrnLineChars**」、「**RecLineChars**」、「**SlpLineChars**」などステーションごとに共通で定義されているプロパティは「**StnLineChars**」のようにステーションを示す文字列を「**Stn**」と表すことがあります。
- 「インチ」：1 インチは 25.4mm です。
- 「dpi」は 1 インチあたりのドット数です。

- デバイスの言語仕様について以下のように表すことがあります。
 ANK 仕様 マルチバイト文字を搭載していないデバイス
 JP 仕様 日本語対応デバイス
- 「有線 LAN」、「無線 LAN」は、「ネットワーク」と表すことがあります。
- 「レシート」、「ジャーナル」、「スリップ」は、場所によってステーション、または用紙を指します。
- 類似デバイスを以下のように総称することがあります。
 TM-U220II TM-U220IIA / TM-U220IIB / TM-U220IID
- 「NVRAM」は、不揮発性メモリを指します。

第2章 POSPrinterを使用する前に

POSPrinterの設定方法や、使用時の注意・制限事項について説明します。

2.1 デバイスの設定

ハードウェアの型番と、ハードウェアの設定を確認した後、**SetupPOS** ユーティリティで正しいデバイスを選択してください。ハードウェアの設定方法については、「[Appendix-C ハードウェアの設定](#)」で、各デバイスの「ハードウェアの設定」を参照してください。**SetupPOS** ユーティリティの使用方法については、「ユーザーズリファレンス」、および「[Appendix-B SetupPOSの設定](#)」を参照してください。

2.2 オフライン中コマンド実行機能

オフライン中コマンド実行機能は、プリンターがカバーオープンや紙なしなどのオフライン状態であっても、デバイスの **NVRAM** へのロゴの登録などの操作が可能になります。

この機能の設定はユーティリティで行います。詳細につきましては、「ユーティリティユーザーズマニュアル」を参照してください。

2.3 注意・制限事項

- デバイスのフロー制御は、**DTR/DSR** のみをサポートしています。
- 印字中にデバイスの電源再投入、またはカバーを開けた場合に、ごみデータが印字される場合があります。
- デバイスの電源再投入時は、電源を **OFF** した後、**5 秒以上**おいて電源を投入してください。
- **ESC|#E** を使用して送信するデータは **ServiceObject** ではチェックしないため、その後の **ServiceObject** の動作を妨げ、予期しない結果を引き起こす場合があります。

- プリンタ制御コマンドの送信は推奨いたしません。使用する場合には十分な評価を実施してください。
- **CharacterSet** プロパティで、**PosCommon.CharacterSetUnicode** を指定した場合でも、**Unicode** のすべての文字を印字することはできません。デバイスの搭載文字、および拡張フォントで追加登録された文字を、可能な限り **Unicode** に割り当てて印字します。
デバイスの搭載文字はデバイスの仕様により異なります。詳細につきましては、該当デバイスの製品仕様書を参照してください。
- **String** 型で表現される文字コード(**Unicode**)は、設定されている **CharacterSet** プロパティの値を元にバイトコードにすべて変換されます。バイトコード変換時に拡張 **ASCII** コードを指定したい場合はご注意ください。
- **MapMode** プロパティによって影響するプロパティ、およびメソッドのパラメータは、すべて「ドット」で処理されます。そのため、**MapMode** プロパティが **MapMode.Dots** 以外の場合は、**MapMode** プロパティによって影響するプロパティ、およびメソッドのパラメータに ± 1 の誤差を生じることがあります。
- **StnLineChars** プロパティで設定できる値は、**StnLineCharsList** プロパティに記述されている値のみです。**StnLineCharsList** プロパティに記述されている値以外の値が設定された場合は、**StnLineCharsList** プロパティに記述されている一番近い大きな値に設定されます。ただし、**StnLineCharsList** プロパティに記述されている一番大きな値より大きな値が設定された場合は例外が通知されます。
- **CharacterSet** プロパティで 254、または 255 が指定されている場合で、かつ **DirectIO** メソッドの **PTR_DI_BINARY_CONVERSION** コマンドが **PTR_DI_NONE** の指定の場合、**Unicode** のエンコード名はシステムデフォルトのエンコード名になります。

第3章 プロパティ・メソッド・イベント

3.1 プロパティ

UPOS に記述されている機能と異なるプロパティを以下に示します。

3.1.1 CapPowerReporting プロパティ

説明 デバイスの通知能力を識別します。
以下のいずれかの値が設定されます。

値	意味
PowerReporting.Standard	シリアル接続の場合に設定される値です。 ServiceObject は、 OFF_OFFLINE （電源オフ、またはオフライン）と ONLINE の 2 種類の電源状態を判断し、通知が可能です。
PowerReporting.Advanced	パラレル、USB、ネットワーク接続時に設定される値です。 ServiceObject は、 OFF 、 OFFLINE と ONLINE の 3 種類の電源状態を判断し通知が可能です。

3.1.2 CapCharacterSet プロパティ

説明 **Open** メソッドによって **SetupPOS** の「マルチバイト文字の種類」の設定に従い初期化されますが、**Claim** メソッド実行後、実際のデバイスが搭載している言語によって変更されることがあります。
以下のいずれかの値が設定されます。

値	意味
CharacterSetCapability.Unicode	デバイスで印字可能な文字を、可能な限り Unicode に割り当てて印字を行います。

3.1.3 CharacterSet プロパティ

説明 設定できる値は **CharacterSetList** プロパティにある値のみです。
 プロパティの値が **932** で設定されている場合、ASCII コードの **0x5C** の
 印字は円マーク'¥'に変更されます。
 以下の値で初期化されます。

値	意味
CharacterSetUnicode(997)	デバイスで印字可能な文字を、可能な限り Unicode に割り当てて印字を行います。

このプロパティは **SetupPOS** の設定の「デフォルト文字セット」に従い、
Open メソッドによって初期化されます。

Claim メソッド実行後、実際のデバイスが搭載している言語仕様によって
 変更されます。

デバイスの漢字文字テーブルと、漢字以外の文字コードテーブルの両方
 に定義されている文字で、同一の **Unicode** ポイントを割り当てられている
 文字が存在します。

例：U+0391 (Greek Capital Letter Alpha)

CharacterSet 932 (Shift-JIS) 0x839F

CharacterSet 737 (Greek) 0x80

CharacterSet プロパティに **997**、または **932** を設定している場合、漢字
 フォントで印字します。

3.1.4 CharacterSetList プロパティ

説明 **Open** メソッドによって **SetupPOS** の「マルチバイト文字の種類」の
 設定に従い初期化されます。
Claim メソッド実行後、実際のデバイスが搭載している言語仕様によっ
 て変更されます。

3.1.5 MapMode プロパティ

説明 **MapMode** プロパティによって影響するプロパティ、およびメソッドの
 パラメータは、すべて「ドット」で処理されます。
MapMode プロパティが **MapMode.Dots** 以外の場合は、**MapMode** プロ
 パティによって影響するプロパティ、およびメソッドのパラメータにお
 いて±1 の誤差を生じることがあります。

3.1.6 RecLineChars プロパティ

説明 **Claim** メソッド実行後、デバイスの仕様に応じて値が変更される場合があります。

設定できる値は、**RecLineCharsList** プロパティにある値のみです。

設定された値が **RecLineCharsList** プロパティにある値以外の場合は、その値がプリンタのサポートする最大値よりも小さいときは、**RecLineCharsList** プロパティにある値の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。

3.1.7 RecLineCharsList プロパティ

説明 **Claim** メソッド実行後、デバイスの仕様に応じて値が変更される場合があります。

3.1.8 RecLineSpacing プロパティ

説明 **RecLineHeight** プロパティより小さい値も設定できます。

RecLineHeight プロパティより小さい値が設定された場合は、1 行目と 2 行目の文字列は重ねて印字されます。

3.1.9 RecLineWidth プロパティ

説明 **Claim** メソッド実行後、デバイスの仕様に応じて値が変更される場合があります。

3.1.10 RecLetterQuality プロパティ

説明 このプロパティを変更すると、印刷解像度の変更、ヘッドの制御方法の変更などを行うことができます。

これらは、ステーションのヘッドの種類によって異なります。ただし、印字解像度を変更されても **RecLineWidth**、**RecLineSpacing** プロパティなどの値は変更されません。

ステーション	変更内容
レシート	単方向印刷の指定/解除

3.1.11 DeviceEnabled プロパティ

説明 **Claim** メソッド実行後、**DeviceEnabled** プロパティを最初に **True** に設定したときに、デバイスの初期化処理を行います。

以下の状態の場合は、デバイスの初期化処理を行うことができません。

- ・ オフライン状態 (例：カバーオープン、紙なし)
- ・ エラー状態 (例：紙ジャム)

DeviceEnabled プロパティを **True** に設定した後、**StatusUpdateEvent** でプリンタの状態を通知します。

ただし、プリンタの状態が **UPOS** で定義されている **StatusUpdateEvent** に当てはまらない場合は、**StatusUpdateEvent** を通知することができません。この場合は、メソッド実行時に通知される例外によって、プリンタの状態を知ることができます。

DeviceEnabled プロパティを **True** に設定したときにデバイスの初期化が行えない場合は、1 秒間隔でデバイスの状態を確認し、デバイスの初期化処理が正常に完了するまで繰り返し行います。

PowerNotify プロパティの設定を有効にすることで、デバイスの初期化状況が把握できます。**StatusUpdateEvent** で **StatusPowerOnline** が通知されたタイミングで、初期化処理が完了となります。

なお、通信速度やイメージの登録状況により、デバイスの初期化処理に数秒かかる場合があります。

3.2 メソッド

UPOS に記述されている機能と異なるメソッドを以下に示します。

3.2.1 Claim メソッド

説明 デバイスの接続状況を確認します。デバイスが接続されていない場合、またはデバイスの電源が **OFF** の場合は、例外が通知されます。ただし、シリアル接続の場合は、デバイスの接続状況を確認できません。よって、デバイスの接続状況に関わらず、**Success** となります。USB 接続において、**SetupPOS** の「ポート名の指定方法」の設定で「デバイス名」が選択されているとき、プリンタがエラー状態の場合には、例外が通知されます。

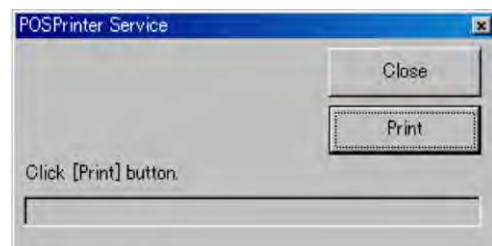
3.2.2 Release メソッド

説明 デバイスが接続されているポートの接続を切断します。

3.2.3 CheckHealth メソッド

説明 すべての **CheckHealth** メソッドの機能をサポートしています。

level	機能概要
HealthCheckLevel.Internal	現在の ServiceObject が所持している情報を元にデバイスの状態をチェックします（デバイスに対しては何のアクションもとりません）。
HealthCheckLevel.External	現在選択されているステーションに次の文字列をテスト印字します。 External HCheck !! EPSON UPOS ADK ServiceVersion=ServiceObject のバージョン DeviceName=デバイス名
HealthCheckLevel.Interactive	次のダイアログボックスを表示します。



[Print]ボタンを押してテストを実行します。

現在選択されているステーションに以下の文字列をテスト印字します。

Interactive HCheck !!
EPSON UPOS ADK
ServiceVersion=ServiceObject
のバージョン
DeviceName=デバイス名

[Close]ボタンを押して終了します。

実行結果は **CheckHealthText** プロパティに格納されます。

そしてまた、メソッドの戻り値としても下記の値が取得されます。

level	値	意味
HealthCheckLevel.Internal		
	Internal HCheck: Successful	CheckHealth メソッドが正常終了しました。
	Internal HCheck: Error-<Message>	CheckHealth メソッドを異常終了しました。 Message にエラー情報が入ります。
HealthCheckLevel.External		
	External HCheck: Successful	CheckHealth メソッドが正常終了しました。
	External HCheck: Error-<Message>	CheckHealth メソッドを異常終了しました。 Message にエラー情報が入ります。
HealthCheckLevel.Interactive		
	Interactive HCheck: Canceled	何もせずに、 CheckHealth メソッドを終了しました。
	Interactive HCheck: Complete	最後のオペレーションが正常終了した後に、 CheckHealth メソッドを終了しました。
	Interactive HCheck: Error-<Message>	最後のオペレーションが異常終了した後に、 CheckHealth メソッドを終了しました。 Message にエラー情報が入ります。

3.2.4 ClearOutput メソッド

説明 非同期モードで出力中のデータの削除については、未送信のトランザクションのデータのみ削除します。現在送信中のデータ、およびデバイスに送信されているが印字されていないデータは削除されません。

3.2.5 DirectIO メソッド

説明 **DirectIO** メソッドは、**DeviceEnabled** プロパティが **true** の場合に使用できます。

DirectIO メソッドがサポートしている機能は以下のとおりです。

command	機能概要
PTR_DI_OUTPUT_NORMAL	指定されたコードをフロー制御ありでデバイスに送信します。
PTR_DI_OUTPUT_REALTIME	指定されたコードをフロー制御なしでデバイスに送信します。
PTR_DI_PANEL_SWITCH	パネルスイッチの有効/無効を切り替えます。
PTR_DI_RECOVER_ERROR	復帰可能なエラーを復帰させます。
PTR_DI_BINARY_CONVERSION	String 型のパラメータで指定される文字列の形式を指定します。
PTR_DI_GET_SUPPORT_FUNCTION	現在接続しているデバイスでサポートしている機能を返します。
PTR_DI_RING_BUZZER_WITH_TIME	指定時間ブザー鳴動を行います。
PTR_DI_SOUND_MELODY	メロディを鳴動させます。

● PTR_DI_OUTPUT_NORMAL コマンド

パラメータ

<i>command</i>	PTR_DI_OUTPUT_NORMAL
<i>data</i>	未使用
<i>object(byte[]型)</i>	送信データ

説明 *object* パラメータで指定されたデータを、直接デバイスにフロー制御ありで送信します。

デバイスに **ESC/POS** コマンドを送信する場合のみ使用してください。

なお、このコマンドで送信するデータは、**ServiceObject** でチェックしていません。改行量やフォントの大きさを変更する **ESC/POS** コマンドなどは、その後の **ServiceObject** の動作を妨げるので送信しないでください。

● PTR_DI_OUTPUT_REALTIME コマンド

パラメータ

<i>command</i>	PTR_DI_OUTPUT_REALTIME
<i>data</i>	未使用
<i>object(byte[]型)</i>	送信データ

説明 *object* パラメータで指定されたデータを直接デバイスにフロー制御なしで送信します。

デバイスに **ESC/POS** コマンドのリアルタイムコマンドを送信する場合のみ使用してください。

このコマンドはフロー制御なしで送信するため、**ServiceObject** 内に未送信データがある場合は、文字化け印字される場合があります。

USB、ネットワーク接続の場合は、フロー制御なしでコマンドを送信することができないので、**Device** が **Busy** の状態で実行したときは例外が通知されます。

● PTR_DI_PANEL_SWITCH コマンド

パラメータ

<i>command</i>	PTR_DI_PANEL_SWITCH
<i>data</i>	ON/OFF (0 が OFF、1 が ON) を指定
<i>object</i>	未使用

- 説明** パネルスイッチを有効/無効にします。
- data* に ON(1)が設定された場合はパネルスイッチを有効、OFF(0)が設定された場合はパネルスイッチを無効にします。
- 機種により以下のような例外があります。
- ・マクロ実行時のスイッチ待ち時は、設定に関わらずスイッチは有効
 - ・カバーオープン時は、設定によらずスイッチは無効

● PTR_DI_RECOVER_ERROR コマンド

パラメータ

<i>command</i>	PTR_DI_RECOVER_ERROR
<i>data</i>	未使用
<i>object</i>	未使用

- 説明** 復帰可能なエラーから復帰します。
- このコマンドでは、フロー制御なしでデバイスにエラー復帰のコマンドを送信します。
- デバイスが復帰可能なエラー状態以外の場合は、使用しないでください。
- USB、ネットワーク接続の場合は、フロー制御なしでコマンドを送信することができないので、**Device** が **Busy** の状態で実行したときは例外が通知されます。

● PTR_DI_BINARY_CONVERSION コマンド

パラメータ

<i>command</i>	PTR_DI_BINARY_CONVERSION
<i>data</i>	以下のいずれかを指定 <ul style="list-style-type: none"> • PTR_DI_BC_NONE • PTR_DI_BC_NIBBLE • PTR_DI_BC_DECIMAL
<i>object</i>	未使用

- 説明** String 型のパラメータで指定される文字列の形式を指定します。
 OPOS の **BinaryConversion** プロパティと同一の仕様です。
 このコマンドは、2 次元コードの印刷や、Unicode 指定できない **CharacterSet** プロパティの場合に使用します。
 このコマンドの設定が有効なのは、以下のメソッドです。
- **PrintNormal** メソッド
 (CharacterSet プロパティが空白ページ(254,255)の場合のみ)
 - **PrintImmediate** メソッド
 (CharacterSet プロパティが空白ページ(254,255)の場合のみ)

● PTR_DI_GET_SUPPORT_FUNCTION コマンド

パラメータ

<i>command</i>	PTR_DI_GET_SUPPORT_FUNCTION
<i>data</i>	未使用
<i>object</i>	未使用

説明 現在接続されているデバイスがサポートしている機能を機能フラグの論理和で表し、戻り値の **DirectIOData** の **Data** プロパティに格納します。
Data プロパティには、常に 0 が格納されます。

● PTR_DI_RING_BUZZER_WITH_TIME コマンド

パラメータ

<i>command</i>	PTR_DI_RING_BUZZER_WITH_TIME
<i>data</i>	ブザー鳴動時間(ミリ秒)を指定
<i>object</i>	未使用

説明 **data** パラメータで指定された時間、ブザーを鳴動させます。
 設定可能なブザー鳴動時間は、0～510 ミリ秒です。
 ネットワーク接続の使用時のみ、本コマンドを実行することができます。
 その他の接続を使用した場合は例外が通知されます。

● PTR_DI_SOUND_MELODY コマンド

パラメータ

<i>command</i>	PTR_DI_SOUND_MELODY
<i>data</i>	鳴動させるパターンの定数
<i>object</i>	繰り返し回数・鳴動間の指定

説明 メロディが鳴動します。

AsyncMode プロパティが **true** の場合は例外を発行します。

data パラメータに指定できる定数値は以下のとおりです。

以下の定数値以外が指定された場合は例外を発行します。

パラメータ	意味
PTR_DI_SOUND_PATTERN_1	パターン A
PTR_DI_SOUND_PATTERN_2	パターン B
PTR_DI_SOUND_PATTERN_3	パターン C
PTR_DI_SOUND_PATTERN_4	パターン D
PTR_DI_SOUND_PATTERN_5	パターン E
PTR_DI_SOUND_PATTERN_ERROR	エラー発生時パターン
PTR_DI_SOUND_PATTERN_NOPAPER	紙無しパターン

object パラメータは、繰り返し回数と鳴動間隔をカンマ区切りで記述します。("繰り返し回数,鳴動間隔"のフォーマット)

鳴動間隔の単位はミリ秒です。

例: "5,1000": 繰り返し回数 5 回、鳴動間隔 1 秒

繰り返し回数と鳴動間隔の設定可能範囲は下記の通りです。

繰り返し回数 : 1~255

鳴動間隔 : 100~60000 (割り切れない場合は 100ms 単位で切り捨て)

フォーマットが異なる場合、もしくは繰り返し回数と鳴動間隔が設定可能範囲外の場合は例外を通知します。また、カンマ区切りの前後にスペースが入っていた場合もフォーマット異常とし、例外を通知します。

鳴動間隔の指定は、指定可能なデバイスと指定不可能なデバイスが存在します。

鳴動間隔を指定しても、常に鳴動間隔は 0 になります。(指定したパターンが間隔なしで指定回数繰り返し鳴動します。)

外付けオプションブザーを接続していない場合は鳴動しません。

3.2.6 ResetStatistics メソッド

- パラメータ型 : **Microsoft.PointOfService.StatisticCategories**

パラメータ

Microsoft.PointOfService.StatisticCategories

以下のいずれかを指定

- **StatisticCategories.Upos**
- **StatisticCategories.Manufacturer**
- **StatisticCategories.All**

説明 指定されたカテゴリに含まれ、「[Appendix-F DeviceStatistics](#)」でリセット可否が○になっている項目のみがリセットされます。
ServiceObject でサポートしている **Statistics** はすべて **UPOS** で定義されています。**StatisticCategories.Manufacturer** を指定した場合は何もリセットされません。

- パラメータ型 : **String[]**

パラメータ

String[]

リセットする項目名の配列

説明 項目名に“U_”、“M_”、空文字列が指定された場合は、指定されたカテゴリに含まれ、「[Appendix-F DeviceStatistics](#)」でリセット可否が○になっている項目のみがリセットされます。
不正な項目名、またはリセット可能でない項目名を含んでいる場合は、エラーが通知されます。このとき、正常に指定された他の項目もリセットされません。
ServiceObject でサポートしている **Statistics** は、すべて **UPOS** で定義されています。したがって、“M_”を指定した場合は何もリセットされません。

3.2.7 ResetStatistic メソッド

説明 項目名に“U_”、“M_”、空文字列が指定された場合は、指定されたカテゴリに含まれ、「[Appendix-F DeviceStatistics](#)」でリセット可否が○になっている項目のみがリセットされます。
不正な項目名、リセットできない項目名を指定した場合、このメソッドはエラーを通知します。
ServiceObject でサポートしている **Statistics** は、すべて **UPOS** で定義されています。したがって、“M_”を指定した場合は何もリセットされません。

3.2.8 RetrieveStatistics メソッド

- パラメータ型 : **Microsoft.PointOfService.StatisticCategories**

パラメータ

Microsoft.Microsoft.PointOfService.StatisticCategories

以下のいずれかを指定

- **StatisticCategories.UpoS**
- **StatisticCategories.Manufacturer**
- **StatisticCategories.All**

説明 **ServiceObject** でサポートしている **Statistics** はすべて **UPOS** で定義されています。したがって、**StatisticCategories.Manufacturer** を指定した場合は **UPOS** で定義されている最低限の情報（**UPOS** バージョン、メーカー名、デバイス名、デバイスカテゴリーの 4 つ）が取得されます。

- パラメータ型 : **String[]**

パラメータ

String[]

取得する項目名の配列

説明 不正な項目名が含まれている場合、エラーを通知します。
ServiceObject でサポートしている **Statistics** はすべて **UPOS** で定義されています。したがって、“**M_**”を指定した場合は **UPOS** で定義されている最低限の情報（**UPOS** バージョン、メーカー名、デバイス名、デバイスカテゴリーの 4 つ）が取得されます。

- パラメータ型 : なし

説明 定義されているすべての項目の情報が取得されます。

3.2.9 RetrieveStatistic メソッド

説明 不正な項目名が指定された場合、エラーを通知します。
カンマ区切りで複数の項目名を指定した場合（**UPOS** 仕様）、エラーを通知します。

ServiceObject でサポートしている **Statistics** はすべて **UPOS** で定義されています。したがって、“**M_**”を指定した場合は **UPOS** で定義されている最低限の情報（**UPOS** バージョン、メーカー名、デバイス名、デバイスカテゴリーの 4 つ）が取得されます。

3.2.10 UpdateStatistics メソッド

- パラメータ型 : **Microsoft.PointOfService.Statistic[]**

パラメータ

Microsoft.PointOfService.Statistic[] 項目名と新しい値を設定した
Microsoft.PointOfService.Statistic
の配列を指定

説明 項目名に“U_”、“M_”、空文字列が指定された場合は、指定されたカテゴリに含まれ、「[Appendix-F DeviceStatistics](#)」で更新可否が○になっている項目のみが更新されます。

不正な項目名、または更新可能ではない項目名を含んでいる場合は、エラーが通知されます。このとき、正常に指定された他の項目も更新されません。

ServiceObject でサポートしている **Statistics** は、すべて **UPOS** で定義されています。したがって、“M_”を指定した場合は、何も更新されません。

- パラメータ型 : **Microsoft.PointOfService.StatisticCategories**

パラメータ

Microsoft.PointOfService.StatisticCategories

以下のいずれかを指定

- **StatisticCategories.Upos**
- **StatisticCategories.Manufacturer**
- **StatisticCategories.All**

Object 更新後の新しい値を指定

説明 指定されたカテゴリに含まれ、「[Appendix-F DeviceStatistics](#)」で更新可否が○になっている項目のみが更新されます。

ServiceObject でサポートしている **Statistics** はすべて **UPOS** で定義されています。カテゴリに **StatisticCategories.Manufacturer** を指定した場合は何も更新されません。

3.2.11 UpdateStatistic メソッド

説明 項目名に“U_”、“M_”、空文字列が指定された場合は、指定されたカテゴリに含まれ、「[Appendix-F DeviceStatistics](#)」で更新可否が○になっている項目のみが更新されます。

不正な項目名、または更新可能ではない項目名を指定した場合は、エラーが通知されます。

ServiceObject でサポートしている **Statistics** はすべて **UPOS** で定義されています。“M_”を指定した場合は何も更新されません。

3.2.12 BeginInsertion メソッド

説明 本デバイスはスリップステーションが無いため、例外が通知されます。

3.2.13 BeginRemoval メソッド

説明 本デバイスはスリップステーションが無いため、例外が通知されます。

3.2.14 ChangePrintSide メソッド

説明 本デバイスはスリップステーションが無いため、例外が通知されます。

3.2.15 MarkFeed メソッド

説明 **CapRecMarkFeed** プロパティは **PrinterMarkFeeds.None** であるため、「機能がありません」の例外が通知されます。

3.2.16 EndInsertion メソッド

説明 本デバイスはスリップステーションが無いため、例外が通知されます。

3.2.17 EndRemoval メソッド

説明 本デバイスはスリップステーションが無いため、例外が通知されます。

3.2.18 CutPaper メソッド

説明 *percentage* パラメータが 0 の場合、コマンド送信を行わずにメソッドの処理を終了します。
percentage パラメータが 1～100 の場合、1 点残しでカッターを動作させます。

3.2.19 PrintNormal メソッド

説明 UPOS では、改行コードが付いてない文字列の同期印字を行う場合はエラーになる仕様ですが、改行コードがない文字列でも印字可能です。
本デバイスが対応するエスケープシーケンスについては、表「[Appendix-E エスケープシーケンス](#)」を参照してください。

3.2.20 PrintImmediate メソッド

説明 UPOS には、“直後の印字動作として組み込まれます”と書かれています。が、ServiceObject では、非同期印字のときに、複数のトランザクションのデータがデバイスに送信される場合があります。したがって、**PrintImmediate** メソッドのデータは、直ちに印字されない場合があります。

UPOS では、改行コードが付いてない文字列の同期印字を行う場合はエラーになる仕様ですが、改行コードがない文字列でも印字可能です。

本デバイスが対応するエスケープシーケンスについては、表「[Appendix-E エスケープシーケンス](#)」を参照してください。

3.2.21 PrintTwoNormal メソッド

説明 本デバイスはステーションがひとつしかないため、例外が通知されます。

3.2.22 RotatePrint メソッド

説明 ESC|#B によるイメージの印字に関しては、*rotation* パラメータの PrintRotation.Bitmap の指定に関わらず、回転印字されます。

SetBitmap メソッド、**PrintBitmap** メソッド、および **PrintBarcode** メソッドの、それぞれの *alignment* パラメータも無視されます。

このメソッドを呼び出したときに例外が通知された場合、回転印字モードは切り替わりません。

3.2.23 PrintBitmap メソッド

説明 jpeg ファイル、gif ファイル、bmp ファイルを指定することができます。イメージ印字時の解像度は以下のとおりです。

ステーション	横方向	縦方向
レシート	80 dpi	72 dpi

3.2.24 PrintMemoryBitmap メソッド

説明 jpeg ファイル、gif ファイル、bmp ファイルから作成された Bitmap オブジェクトのみがサポートされています。イメージ印字時の解像度は以下のとおりです。

ステーション	横方向	縦方向
レシート	80 dpi	72 dpi

3.2.25 SetBitmap メソッド

説明 jpeg ファイル、gif ファイル、bmp ファイルを指定することができます。イメージ印字時の解像度は、**RecLetterQuality** に関係なくデバイス標準の解像度で印字されます。
alignment パラメータが **PrinterBitmap.Left**、または **0** 以外が指定された場合、指定された場所に印字できないデバイスは例外が通知されます。

3.2.26 SetLogo メソッド

説明 このメソッドで登録されるデータ内に、以下のエスケープシーケンスは指定できません。指定された場合は、例外が通知されます。

- ESC | tL
- ESC | bL

3.2.27 TransactionPrint メソッド

説明 このメソッドを呼び出したときに例外が通知された場合、**Transaction** モードは切り替わりません。また、**Transaction** モードで **ServiceObject** にバッファリングされているデータはクリアされません。

3.3 イベント

3.3.1 DirectIOEvent イベント

UPOS に記述されている機能と異なるイベントを以下に示します。

- PTR_DIE_RESPONSE イベント番号

プロパティ

<i>EventNumber</i>	PTR_DIE_RESPONSE
<i>Data</i>	0 (未使用)
<i>Object</i>	プリンタからのレスポンスを格納

説明 **DirectIO** メソッドの PTR_DI_OUTPUT_NORMAL コマンド、PTR_DI_OUTPUT_REALTIME コマンド、または ESC|#E を伴う **PrintNormal** メソッド / **PrintImmediate** メソッドでデバイスからのレスポンスがある ESC/POS コマンドを送信したとき、レスポンスを **Object** プロパティに格納し通知します。

レスポンスとして通知できる ESC/POS コマンドは以下のとおりです。

- ESC u
- ESC v
- GS l(1 バイトのプリンタ ID)
- GS r
- DLE EOT
- GS (C
- GS (L
- GS 8 L
- GS (G

- PTR_DIE_SET_BITMAP_MODE イベント番号

プロパティ

<i>EventNumber</i>	PTR_DIE_SET_BITMAP_MODE
<i>Data</i>	イメージの登録方法
<i>Object</i>	キーコードを格納

説明 **setBitmap** メソッドでイメージを登録したときの登録方法を通知します。

Data プロパティは以下の値が設定されます。

Data	意味
-------------	----

PTR_DIE_MEMORY	ServiceObject 内部で保持
----------------	---------------------

3.3.2 ErrorEvent イベント

説明 **ErrorEvent** イベントがキューイングされている状態で **DeviceEnabled** プロパティが **false** となったとき、**ServiceObject** は **ErrorResponse** プロパティに **ErrorResponse.Retry** が設定されたと見なして処理を行います。したがって、**DeviceEnabled** プロパティを **true** としたときに非同期出力データが再出力されます。

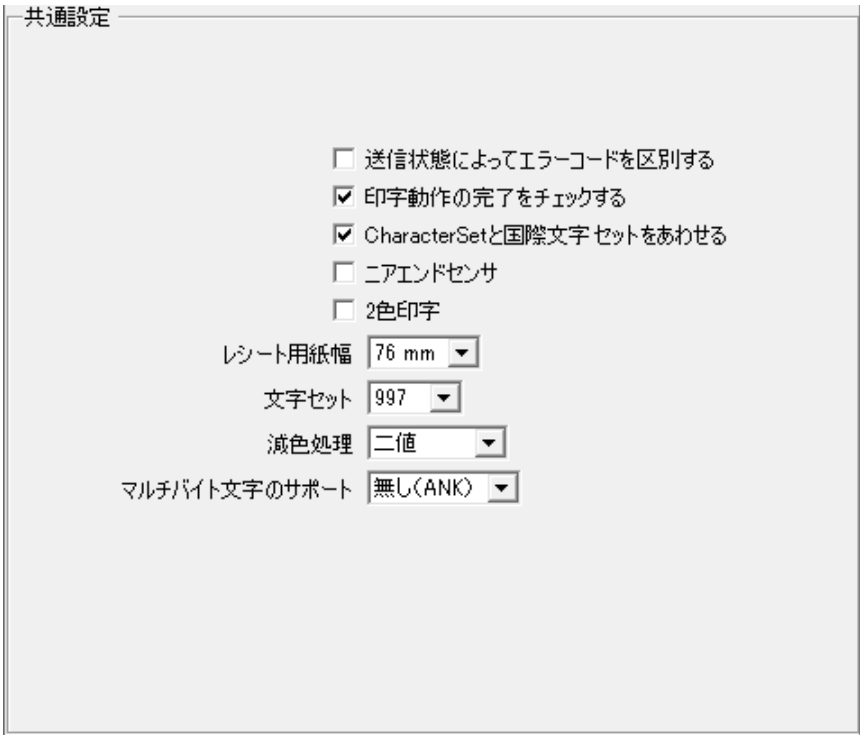
DeviceEnabled プロパティを **true** としたときに非同期出力データを再出力させないためには **ClearOutput** メソッドを実行してください。

Appendix-A 改訂履歴

A.1 EPSON OPOS ADK for .NET 1.14.30

- (1) TM-U220II に対応しました。

Appendix-B SetupPOS の設定



上記の画面は TM-U220IIB の設定です。

B.1 [送信状態によってエラーコードを区別する]チェックボックス

説明 出力中のエラーコードのタイプを設定します。

状態	意味
チェックあり	出力中にエラーとなった場合はタイムアウトを ErrorCodeExtended に設定します。
チェックなし	出力中かどうかによらず、エラーとなったプリンタの状態をそのまま ErrorCode 、および ErrorCodeExtended に設定します。

初期設定： チェックなし

B.2 [CharacterSet と国際文字セットをあわせる] チェックボックス

説明 国際文字セットの設定を **CharacterSet** プロパティの値にあわせて自動で変更するかどうかを設定します。

状態	意味
チェックあり	CharacterSet プロパティの値に合わせて、国際文字を設定します。
チェックなし	CharacterSet プロパティの値が 932 以外の場合、アメリカの国際文字を設定します。

初期設定： チェックあり

B.3 [2 色印字] チェックボックス

説明 使用するリボンカセットが 2 色かどうかを設定します。

項目	意味
チェックあり	2 色リボンカセットを使用します。
チェックなし	単色リボンカセットを使用します。

- 2 色印字する設定にした場合

CapRec2Color プロパティが **PrinterColors.Primary | PrinterColors.Custom1** に設定されます。

PrintBitmap メソッドを使用することで、2 色のイメージ印字が可能となります。**PrintNormal** メソッド、**PrintImmediate** メソッドのエスケープシーケンスを使用することで、カスタム色の印字が可能となります。

初期設定： チェックなし

B.4 [ニアエンドセンサ] チェックボックス

説明 デバイスにニアエンドセンサがあるかどうかを設定します。

状態	意味
チェックあり	デバイスにニアエンドセンサがあります。
チェックなし	デバイスにニアエンドセンサがありません。

- デバイスにニアエンドセンサがある設定にした場合

CapRecNearEndSensor プロパティの値が **true** となります。

StatusUpdateEvent イベントで、用紙が少なくなったことを知ることができます。

初期設定： チェックなし

B.5 [印字動作の完了をチェックする] チェックボックス

説明 印字動作の完了をチェックするかどうかを設定します。

状態	意味
チェックあり	デバイスの印字が完了した時点で、印字メソッドの完了と判断します。
チェックなし	データの出力が完了した時点で、印字メソッドの完了と判断します。

- データの出力が完了した時点で、印字メソッドの完了と判断する設定にした場合

デバイスの印字と印字メソッドは、完全に同期されません。いち早くメソッドを完了することができます。

AsyncMode プロパティの値を **true** に設定した場合、**OutputCompleteEvent** イベントは、データの出力完了を印字メソッドの完了とするため、実際のデバイスの印字が完了する前に通知されます。デバイスが、印字中にエラーとなった場合でも、メソッドの出力が完了していれば、印字は成功したと判断されます。

初期設定： チェックあり

B.6 [減色処理] コンボボックス

説明 イメージ印字 (**PrintBitmap** メソッドの実行) 時に行う減色処理の種類を設定します。

項目	意味
二値	指定されたイメージファイルを二値（モノクロ）化して、デバイスに出力します。
誤差拡散	指定されたイメージファイルを誤差拡散処理して、デバイスに出力します。
ディザ	指定されたイメージファイルをディザリング処理してデバイスに出力します。

初期設定： 二値

B.7 [マルチバイト文字のサポート] コンボボックス

説明 デバイスが搭載しているマルチバイトキャラクタフォントを設定します。

項目	意味
無し(ANK)	デバイスにマルチバイトキャラクタフォントが搭載されていません。
日本語	デバイスに日本語フォントが搭載されています。

- デバイスに日本語フォントが搭載されている設定にした場合
CharacterSet プロパティは 932 に設定されます。**CharacterSetList** プロパティに 932 が存在します。**CharacterSet** プロパティは 932 であれば、**PrintNormal** メソッド、**PrintImmediate** メソッドで日本語の印字ができるようになります。

初期設定： 無し(ANK)

B.8 [レシート用紙幅] コンボボックス

説明 レシート用紙幅を設定します。

項目	意味
58mm (TM-U220IIB/ TM-U220IID)	レシート幅が 58mm
70mm (TM-U220IIB/ TM-U220IID)	レシート幅が 70mm
76mm (TM-U220IIB/ TM-U220IID)	レシート幅が 76mm

初期設定： 76mm

B.9 [文字セット] コンボボックス

説明

CharacterSet プロパティの初期値を設定します。**CharacterSetList** プロパティに設定される **Character Set** のリストから値を選択します。
Device Font Type Combo Box の設定により、選択可能な値が更新されます。

Item	Meaning
997	デバイスが搭載する全ての文字を Unicode に割り当てて印字します。
254, 255, 437, 850, 852, 858, 860, 863, 865, 866, 999, 1252	標準コードページで印字します。
932	SetupPOS の“マルチバイト文字のサポート”の設定で “日本語”を選択した場合のみ選択可能です。

初期設定: 997

Appendix-C ハードウェアの設定

● ディップスイッチ設定

このデバイスのディップスイッチは、以下のとおり設定してください。

1) シリアル接続

Dip-SW 1

番号	設定
1	OFF
2	OFF
3	OFF
4	OFF
5	OFF
6	OFF
7	OFF
8	OFF

推奨

OFF 固定

OFF 固定

OFF 固定

注 1

注 1

注 2

推奨

Dip-SW 2

番号	設定 A ^{注 3}	設定 B ^{注 3}	設定 D ^{注 3}
1	OFF	OFF	OFF
2	ON	ON	OFF
3	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	OFF
5	OFF	OFF	OFF
6	OFF	OFF	OFF
7	OFF	OFF	OFF
8	OFF	OFF	OFF

設定固定

設定固定

設定固定

設定可能

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

注 1 Dip-SW1 の 5 番と 6 番は、パリティの設定を行う。

ディップスイッチ 1 のパリティ設定

SW No.	Function	ON	OFF	初期設定
1-5	パリティ有無	パリティ有り	パリティ	OFF
1-6	パリティの選択	偶数	奇数	OFF

注 2 Dip-SW1 の 7 番は、通信速度の設定を行う。

通信速度の切り替え

SW1-7	転送速度 (bps)
ON	4800
OFF	9600

注 3 設定 A は TM-U220IIA の設定を示す。設定 B は TM-U220IIB の設定を示す。設定 D は TM-U220IID の設定を示す。

2) パラレル接続

Dip-SW 1

番号	設定
1	OFF
2	OFF
3	OFF
4	OFF
5	OFF
6	OFF
7	OFF
8	ON

推奨

推奨

OFF 固定

OFF 固定

OFF 固定

OFF 固定

OFF 固定

ON 固定

Dip-SW 2

番号	設定 A ^{注1}	設定 B ^{注1}	設定 D ^{注1}
1	OFF	OFF	OFF
2	ON	ON	OFF
3	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	OFF
5	OFF	OFF	OFF
6	OFF	OFF	OFF
7	OFF	OFF	OFF
8	ON	ON	ON

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

^{注1} 設定 A は TM-U220IIA の設定を示す。設定 B は TM-U220IIB の設定を示す。設定 D は TM-U220IID の設定を示す。

3) USB 接続、およびネットワーク接続

Dip-SW 1

番号	設定
1	OFF
2	OFF
3	OFF
4	OFF
5	OFF
6	OFF
7	OFF
8	OFF

推奨

推奨

OFF 固定

OFF 固定

OFF 固定

OFF 固定

OFF 固定

OFF 固定

推奨

Dip-SW 2

番号	設定 A ^{注1}	設定 B ^{注1}	設定 D ^{注1}
1	OFF	OFF	OFF
2	ON	ON	OFF
3	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	OFF
5	OFF	OFF	OFF
6	OFF	OFF	OFF
7	OFF	OFF	OFF
8	ON	ON	ON

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

設定固定

^{注1} 設定 A は TM-U220IIA の設定を示す。設定 B は TM-U220IIB の設定を示す。設定 D は TM-U220IID の設定を示す。

● メモリスイッチ設定

このデバイスのメモリスイッチは、以下のとおり設定してください。

Mem-SW 2

番号	設定
1	-
2	-
3	OFF
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-

^{注1}

Mem-SW 8

番号	設定
1	-
2	OFF
3	OFF
4	-
5	OFF
6	-
7	OFF
8	OFF

^{注1}OFF 固定^{注2}OFF 固定^{注2}OFF 固定^{注2}OFF 固定^{注2}

^{注1} SetupPOS の設定により設定が変更される。

^{注2} ServiceObject により設定が固定される。

Appendix-D プロパティの初期値

本デバイスのプロパティ初期値を以下に示します。

プロパティ	設定値/既定値	設定可能範囲
CapCompareFirmwareVersion	false	—
CapPowerReporting	(シリアル接続) PowerReporting.Standard (その他接続) PowerReporting.Advanced	—
CapStatisticsReporting	true	—
CapUpdateFirmware	false	—
CapUpdateStatistics	true	—
CheckHealthText	""	—
Claimed	false	—
DeviceEnabled	false	true, false
OutputID	0	—
PowerNotify	PowerNotification.Disabled	PowerNotification.Disabled, PowerNotification.Enabled
PowerState	PowerState.Unknown	—
DeviceDescription	「デバイスごとに異なるプロパティ設定」 参照。	—
DeviceName	「デバイスごとに異なるプロパティ設定」 参照。	—
State	ControlState.Idle	—
AsyncMode	false	true, false
CapCharacterSet	「言語の変更に影響する設定」参照。	「言語の変更に影響する設定」参 照。
CapConcurrentJrnRec	false	—
CapConcurrentJrnSlp	false	—
CapConcurrentRecSlp	false	—
CapConcurrentPageMode	false	—
CapCoverSensor	true	—
CapMapCharacterSet	false	—
CapTransaction	true	—
CartridgeNotify	PrinterCartridgeNotify.Disabled	—
CharacterSet	「言語の変更に影響する設定」参照。	「言語の変更に影響する設定」参 照。
CharacterSetList	「言語の変更に影響する設定」参照。	「言語の変更に影響する設定」参 照。
ErrorLevel	PrinterErrorLevel.None	—
ErrorStation	PrinterStation.None	—
ErrorString	""	—
FlagWhenIdle	false	true, false
FontTypefaceList	""	—
MapCharacterSet	false	—
MapMode	MapMode.Dots	MapMode.Dots, MapMode.Twips, MapMode.English, MapMode.Metric
PageModeArea	""	—

PageModeDescriptor	PageModeDescriptors.None	—
PageModeHorizontalPosition	0	—
PageModePrintArea	""	—
PageModePrintDirection	PageModePrintDirection.None	—
PageModeStation	PrinterStation.None	—
PageModeVerticalPosition	0	—
RotateSpecial	PrintRotation.Normal	—
CoverOpen	false	—

レシートに関する設定

プロパティ	設定値/既定値	設定可能範囲
CapRec2Color	false	ユーティリティで TwoColor を利用する設定の場合 true が設定されます。
CapRecBarCode	false	—
CapRecBitmap	true	—
CapRecBold	true	—
CapRecCartridgeSensor	PrinterCartridgeSensors.None	—
CapRecColor	PrinterColors.Primary	ユーティリティで TwoColor を利用する設定の場合 PrinterColors.Primary PrinterColors.Custom1 が設定されます。
CapRecDhigh	true	—
CapRecDwide	true	—
CapRecDwideDhigh	true	—
CapRecEmptySensor	true	—
CapRecItalic	false	—
CapRecLeft90	false	—
CapRecMarkFeed	PrinterMarkFeeds.None	—
CapRecNearEndSensor	false	ユーティリティで NearEndSensor を利用する設定の場合 true が設定されます。
CapRecPageMode	false	—
CapRecPapercut	「デバイスごとに異なるプロパティ設定」参照。	—
CapRecPresent	true	—
CapRecRight90	false	—
CapRecRotate180	true	—
CapRecStamp	false	—
CapRecUnderline	true	—
RecBarCodeRotationList	""	—
RecBitmapRotationList	PrintRotation.Normal, PrintRotation.Rotate180	—
RecCurrentCartridge	PrinterColors.Primary	—
RecCartridgeState	PrinterCartridgeStates.Unknown	—
RecEmpty	false	—
RecLetterQuality	false	true, false
RecLineChars	「用紙幅の変更に影響する設定」参照。	「用紙幅の変更に影響する設定」参照。
RecLineCharsList	「用紙幅の変更に影響する設定」参照。	—
RecLineHeight	9	RecLineChars で設定された FontA か FontB のフォントの高さに丸め込まれます。
RecLineSpacing	12	0～127
RecLinesToPaperCut	「デバイスごとに異なるプロパティ設定」参照。	—
RecLineWidth	「用紙幅の変更に影響する設定」参照。	—
RecNearEnd	false	—
RecSidewaysMaxChars	0	—
RecSidewaysMaxLines	0	—

デバイスごとに異なるプロパティ設定

デバイス	プロパティ	設定値/既定値	設定可能範囲
TM-U220IIA	DeviceDescription	“EPSON TM-U220IIA Printer”	—
	DeviceName	“TM-U220IIA”	—
	CapRecPapercut	true	—
	RecLinesToPaperCut	8	—
TM-U220IIB	DeviceDescription	“EPSON TM-U220IIB Printer”	—
	DeviceName	“TM-U220IIB”	—
	CapRecPapercut	true	—
	RecLinesToPaperCut	8	—
TM-U220IID	DeviceDescription	“EPSON TM-U220IID Printer”	—
	DeviceName	“TM-U220IID”	—
	CapRecPapercut	false	—
	RecLinesToPaperCut	6	—

言語の変更に影響する設定

言語	プロパティ	設定値/既定値	設定可能範囲
ANK	CapCharacterSet	CharacterSetCapability.Unicode	—
	CharacterSet	CharacterSetUnicode	CharacterSetList のいずれかの値
	CharacterSetList	254, 255, 437, 850, 852, 858, 860, 863, 865, 866, 997, 999, 1252	—
Japanese	CapCharacterSet	CharacterSetCapability.Unicode	—
	CharacterSet	CharacterSetUnicode	CharacterSetList のいずれかの値
	CharacterSetList	254, 255, 437, 850, 852, 858, 860, 863, 865, 866, 932, 997, 999, 1252	—

用紙幅の変更に影響する設定

デバイス名	用紙幅	プロパティ	設定値/既定値	設定可能範囲
TM-U220IIA	76 mm	RecLineChars	33	1～40 RecLineCharsList で記述されている数字が設定可能です。 それ以外は、設定された値がプリンタのサポートする最大値よりも小さければ、RecLineCharsList プロパティにある値の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。
		RecLineCharsList	33, 40	—
		RecLineWidth	200	—
TM-U220IIB/ TM-U220IID	58 mm	RecLineChars	25	1～30 RecLineCharsList で記述されている数字が設定可能です。 それ以外は、設定された値がプリンタのサポートする最大値よりも小さければ、RecLineCharsList プロパティにある値の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。
		RecLineCharsList	25, 30	—
		RecLineWidth	150	—
	70 mm	RecLineChars	30	1～36 RecLineCharsList で記述されている数字が設定可能です。 それ以外は、設定された値がプリンタのサポートする最大値よりも小さければ、RecLineCharsList プロパティにある値の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。
		RecLineCharsList	30, 36	—
		RecLineWidth	180	—
	76 mm	RecLineChars	33	1～40 RecLineCharsList で記述されている数字が設定可能です。 それ以外は、設定された値がプリンタのサポートする最大値よりも小さければ、RecLineCharsList プロパティにある値の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。
		RecLineCharsList	33, 40	—
		RecLineWidth	200	—

Appendix-E エスケープシーケンス

本デバイスで使用可能なエスケープシーケンスを以下に示します。

エスケープシーケンス	設定可能範囲
ESC #sP	—
ESC sL	—
ESC #B	1～20
ESC tL	0
ESC bL	0
ESC #IF	0～9999 (1)
ESC #uF	0～9999 (1)
ESC #rF	0～255 (1)
ESC #E	0～999 (1)
ESC #fT	—
ESC bC	0
ESC #uC	0～1 (1)
ESC iC	—
ESC #rC	1～2 (2)
ESC rvC	—
ESC #sC	—
ESC 1C	0
ESC 2C	0
ESC 3C	0
ESC 4C	0
ESC #hC	1～2 (1)
ESC #vC	1～2 (1)
ESC tbC	—
ESC tpC	—
ESC cA	0
ESC rA	0
ESC IA	0
ESC N	0
ESC #R	—
ESC #stC	0～1 (1)
()内の数字は#省略時の値 0 は設定可能	

デバイスごとに異なるエスケープシーケンス

エスケープシーケンス	設定可能範囲		
	U220IIA	U220IIB	U220IID
ESC #P	0～100 (100)		—
ESC #fP	0～100 (100)		—

()内の数字は#省略時の値
 O は設定可能

Appendix-F DeviceStatistics

本デバイスの Statistics 機能一覧を以下に示します。

XML 定義名	説明	リセット可否	更新可否
UnifiedPOSVersion	UPOS バージョン	x	x
DeviceCategory	デバイスカテゴリ	x	x
ManufactureName	製造元	x	x
ModelName	デバイス名	x	x
SerialNumber	シリアルナンバー	x	x
ManufactureDate	製造日	x	x
MechanicalRevision	デバイスリビジョン	x	x
FirmwareRevision	ファームウェアバージョン	x	x
Interface	インターフェイス	x	x
InstallationDate	インストール日付	x	x
HoursPoweredCount	稼働時間	O	O
CommunicationErrorCount	コミュニケーションエラー回数	O	O
BarcodePrintedCount	バーコード印字成功回数	x	x
FormInsertionCount	スリップ挿入成功回数	x	x
HomeErrorCount	メカニカルエラー発生回数	O	O
JournalCharacterPrintedCount	ジャーナル印字文字数	x	x
JournalLinePrintedCount	ジャーナル印字行数	x	x
MaximumTempReachedCount	ヘッド高温エラー発生回数	O	O
NVRAMWriteCount	NVRAM 設定回数	x	x
PrinterFaultCount	復帰不可能エラー発生回数	O	O
PrintSideChangeCount	スリップ印字面変更成功回数	x	x
FailedPrintSideChangeCount	スリップ印字面変更失敗回数	x	x
ReceiptCharacterPrintedCount	レシート印字文字数	O	O
ReceiptLinePrintedCount	レシート印字行数	O	O
ReceiptLineFeedCount	レシート改行量	O	O
ReceiptCoverOpenCount	レシートカバーオープン回数	O	O
SlipCharacterPrintedCount	スリップ印字文字数	x	x
SlipLinePrintedCount	スリップ印字行数	x	x
SlipLineFeedCount	スリップ改行量	x	x
SlipCoverOpenCount	スリップカバーオープン回数	x	x
StampFiredCount	スタンプ印字回数	x	x

O:可
x:不可

デバイスごとに異なる Statistics 機能

XML 定義名	説明	リセット可否			更新可否		
		U220IIA	U220IIB	U220IID	U220IIA	U220IIB	U220IID
PaperCutCount	用紙カット 成功回数	○	○	x	○	○	x
FailedPaperCutCount	用紙カット 失敗回数	○	○	x	○	○	x

○ :可
x :不可